

ボーリング柱状図

調査名 早良(重留3丁目)外地区土質調査業務委託

ボーリングNo. 50302247000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	重留3丁目No.3	調査位置	福岡市早良区重留3丁目地内	北緯	33° 32' 06.0000"
発注機関	福岡市道路下水道局建設部西部下水道課	調査期間	平成27年11月25日～平成27年11月26日	東経	130° 20' 44.0000"
調査業者名	地盤コンサルタントNOGAMI 電話 092-629-2364	主任技師	野上文幸	現代場人	コ鑑定者 一ノ間義夫
ボーリング責任者	吉田安昭	試験機	東邦D-0	ハンマー落下用具	半自動型
使用機種	エンジン ヤンマーNFD10-K	ポンプ	BG-3C		
孔口標高	37.43m	角	180° 上 下 0°	方	0°北 270°西 90°東 180°南
総掘進長	7.00m	度	0°	向	0°鉛直 90°

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				N値	原位置試験		試料採取	室内試験
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深		試験名及び結果	深		
37.08	0.35	0.35		埋土(礫)	灰			上部5cmはアスファルト舗装(黒)。以下は砕石(灰)まさ土による埋土で、シルト混り砂状。											
36.63	0.45	0.80		埋土(シルト混り砂)	淡褐			礫はφ30mm以下で50%程含む。砂は粗粒砂を主とする。											
36.03	0.60	1.40		埋土(砂)	暗青灰			まさ土を主とした埋土。礫の大部分はφ2~5mm程度。最大φ10mm。所により細粒分多く含み全体に不均質。1.70~1.75m間粘土挟む。2.50m付近より含水多く緩くなる。											
34.18	1.85	3.25		埋土(礫混りシルト質砂)	淡青灰 淡褐		緩い	礫はφ20mm以下。砂は粗粒砂主体。3.70m以下は砂分多く含み粘土混り砂状となる。腐植物が少量混じる。ほぼ均質。軟らかく指が容易に貫入する。粘性大。所々に微粒砂が混じる。		11/27 3.05									
33.58	0.60	3.85		埋土(礫混りシルト質砂)	暗灰 暗青灰		非常に軟らかい	φ2~5mm(最大φ10mm)の礫が混じる。粘土混りやや粘性がある。少量の腐植物が混じる。											
32.63	0.95	4.80		シルト	淡緑灰		中位	軟らかく指圧で容易に貫入する。粘性は中位。所々に砂が混じる。少量の腐植物が混じる。											
31.78	0.85	5.65		礫混りシルト質砂	暗灰														
30.43	1.35	7.00		シルト	淡緑灰														

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。